

四小だより

令和4年2月17日 100号



いちよう

山形市立第四小学校

校長 日高 伸哉

<児童数 192名>

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

学校評価アンケート結果

本年度の学校経営について、保護者・児童・教職員に行ったアンケートの結果および今後の方針についてお知らせいたします。

項 目			児 童		保護者		教職員	
			前年度	本年度	前年度	本年度	前年度	本年度
確かな学力	学 習	確かな学力	◎	◎	○	○	○	◎
		聞く・話す	○	○	○	○	○	◎
	行 事	行事への取組	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		グループ・班での取組	◎	◎	◎	○	◎	○
		外部人材・豊かな経験	◎	◎	◎	◎	△	○
豊かな心	挨拶、言葉づかい		◎	◎	○	○	◎	◎
	対人関係(相手の気持ちを考え行動等)		◎	◎	○	○	◎	◎
	適切な相談・指導		◎	◎	○	◎	◎	◎
	いじめ・体罰の早期発見		○	○	○	○	◎	◎
健やかな体	登下校の安全(交通安全、不審者への対応等)		◎	◎	○	◎	◎	◎
	保健・食育		◎	○	◎	◎	△	◎
	運動・体力(進んで運動し体力をつける)		○	○	○	○	△	○
	生活習慣・早寝早起き朝ごはん		○	○	○	○	△	◎
連携その他	テレビ・ゲーム等家庭との連携		○	○	○	○	△	○
	学習習慣の確立のための家庭との連携		◎	○	○	○	△	◎
	学校からの情報提供		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	楽しい学校		◎	◎	◎	◎	◎	◎

※「よくあてはまる」「ややあてはまる」が90%以上で◎、70%以上で○、それ以外△

※本年度の数値が前年度より上がった項目の記号に網掛けをしています。

1 児童アンケートへの対応

「確かな学力」については、個に応じた学力の定着を図るため、通常の授業とともに、児童一人1台所有するタブレット等のICT機器活用などにより、1年間の学習の総まとめを進めていきます。

「豊かな心」については、卒業や進学・進級に向けた節目の時期を迎えますので、教育課程の中に、これまで仲間とともに築いたつながりを再構築する活動を位置付け展開していきます。

「健やかな体」については、これまでコロナ禍における「2慣・3密・4絶」を徹底した感染対策を行いながら学校生活を過ごしてきました。引き続き、「自らのいのちは、自ら守る」姿勢をもち続けられるよう保健指導をしていきます。

2 保護者アンケートより

(1) 各項目における評価結果の特徴及び対応

「確かな学力」の項目では、小項目「話す聞く」に大きな期待と要望が寄せられています。現在、どの教科・領域等においても、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を展開しています。国語科で担う「話す聞く」領域の系統的な指導に併せ、児童の問題解決の中で生じる対話による学びによって児童一人一人の力を育むようにしていきます。

「豊かな心」の項目は、小項目「規範意識」「対人関係」に数多くの要望が寄せられています。社会のルールを守ろうとする意識を確かにするとともに、挨拶や言葉遣い、友だちとのトラブルを未然に回避するための折り合いの付け方等、他者とのよりよいかかわり方について学ぶ場を設けていきます。

「健やかな体」の項目では、小項目「安全」「保健・食育」が高い評価になっています。これは、登下校の際の交通安全等の対策や児童を含めたご家族の新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る取り組みを継続してきた結果であると考えられます。

「家庭・地域との連携」の項目では、小項目「家庭の生活リズム」に数多くの要望が寄せられています。「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣の形成やゲームの適切な自己管理等について、引き続きの連携した指導をよろしくお願いいたします。

(2) 本校の教育にさらに期待すること（割合の多い順に）

- ①思いやりの心 21% ②いのちの教育 16% ③基礎的な学力 15%

(3) 自由記述より（校長の判断で、類似したものをまとめたり、要約したりしました。）

- コロナ禍での工夫を凝らした教育活動に感謝しています。
- 困ったことがあったとき、自分から先生やお友だちに話をし、解決に向けた行動ができているようです。先生方から丁寧にご対応いただいているおかげです。
- コロナ禍のため学校に足を運べない中、お便りやホームページなどで学校での子どもたちの様子をお知らせいただいているので、そのときの状況がよくわかり安心することができます。
- 高学年の学習がだいぶ難しくなっており、家庭でのフォローができなくなってきました。担任の先生と相談させていただき対応していきたいです。
- 友だちとオンラインゲームでトラブルを起こしました。やはり、家庭でしっかり指導し、見守る必要があると感じました。
- 先生方が子どもへ接するとき（特に子どもへ注意をするとき）、声の大きさやトーン、感情の表し方などに気を付けてほしいです。加えて、発達段階に応じた指導をお願いしたいです。

3 今後について

3月初旬に開催予定の学校運営協議会で各委員の皆様にもご意見をいただきながら、アンケート結果を来年度の教育課程に反映していきます。

以下、来年度を待たず、今から対応できることについて記載しました。

-
- (1) 通常の授業とともに、ICT機器や「アイテム算数」等の問題集の効果的な活用により、児童一人一人の「確かな学力」の定着を図ります。
 - (2) 学級・学年・クルーズ班・部活動等の活動を締め括る過程で、児童一人一人が自らの成長を自覚し、新年度に向けての目標をもつことができるようにします。
 - (3) 新型コロナウイルス感染症の感染状況に対応した教育活動ができるように、児童一人1台所有しているタブレットの活用法について習得することができるようにします。
-

ご協力いただき、ありがとうございました。

今後も、心配なことがあれば、何でも（担任、教頭に）ご相談ください。